

Google 管理コンソールを使用した ChromeOS デバイスの管理とクラウドベースのポリシーのデプロイ

クラウドベースの使いやすい [Google 管理コンソール](#) で、ChromeOS デバイスとポリシーの管理、ユーザーの設定、アプリ、拡張機能、ネットワーク、セキュリティプロトコルのデプロイなどを行うことができます。Chromebook Enterprise デバイスや Chrome Enterprise Upgrade を適用したデバイスを Google 管理コンソールで管理、登録できます。

 管理対象の ChromeOS デバイスでは、Windows デバイスと比較して、導入にかかる時間を **76%**も短縮できます*。



IT 部門のニーズを満たすクラウドファーストの エンドポイント管理ソリューション

シンプルでシームレスな エンドポイント管理

Google 管理コンソールでは、Google が推奨する事前設定済みのデフォルトポリシーを使用して、簡単かつスムーズにエンドポイントを管理できます。また、幅広いアセット管理オプション、デバイスとユーザーの設定機能、デバイスをリモートで一元管理する機能により、稼働率を高めてIT コストを削減できます。

100%クラウドファーストの コンソール

包括的なクラウドベースのソリューションで、アプリケーションやツール、分散した場所にあるクラウドファーストのエンドポイントを管理できます。アプリ、設定、ポリシーを自動でダウンロードするクラウドプロファイルを使用すれば、新規ユーザーのオンボーディング、新しいポリシーの設定、既存のデバイスの再設定

、ログインをリモートで実行可能です。イメージを作成する必要はありません。

充実した500 以上のポリシー

IT チームは、500 以上の設定、セキュリティポリシー、プライバシー設定をどこからでも管理できます。Google 管理コンソールには、登録とアクセス、ログイン設定、ユーザー補助設定、デバイス更新設定、キオスク設定、レポート、ディスプレイなどをカスタマイズして設定するための幅広いポリシーが用意されています。

ChromeOS のビジネス向け機能を活用

迅速な導入とシンプルな管理

新規ユーザーのオンボーディング

Google 管理コンソールでは、ユーザーアカウントを簡単に作成、編集できます。1 件ずつ作成することも、一括アップロードすることも可能です。クラウドに保管されたアプリ、データ、設定、ポリシーを自動的にダウンロードするクラウドプロファイルを使用して、デバイスをすばやくセットアップすることも可能です。

500 以上のポリシーの設定

デバイスポリシーを有効または無効に設定できます。事前設定されているデフォルトのポリシーを信頼してそのまま使用することも可能です。ポリシーで管理できる項目には、自動再登録、ユーザー補助機能、ネットワークファイル共有、印刷制御、自動更新の設定、ゲストセッションなどがあります。

ユーザー設定のカスタマイズ

ユーザー設定をカスタマイズして、(ユーザーは変更できない)ポリシーを適用したり、(ユーザーが変更可能な)デフォルト値を設定したりできます。設定できる項目には、ロック画面、シングルサインオン、印刷、ブックマーク、デベロッパーツールなどがあります。

OSアップデートの管理

ChromeOS デバイスを以前の OS バージョンに固定し、新しいバージョンに更新されないよう設定できます。

ローカルプリンタやネットワークプリンタを管理する

ユーザーとプリンタの設定を行うことができます。ユーザー全員に対してプリンタを追加、削除することも、特定のグループまたは部門に所属するユーザーまたはデバイスに対してプリンタを追加、削除することもできます。

Chrome Policy API

Chrome Policy API を使用してカスタムスクリプトを作成し、Chrome ポリシーを効率的かつ柔軟に管理できます。

デバイスに関するレポート

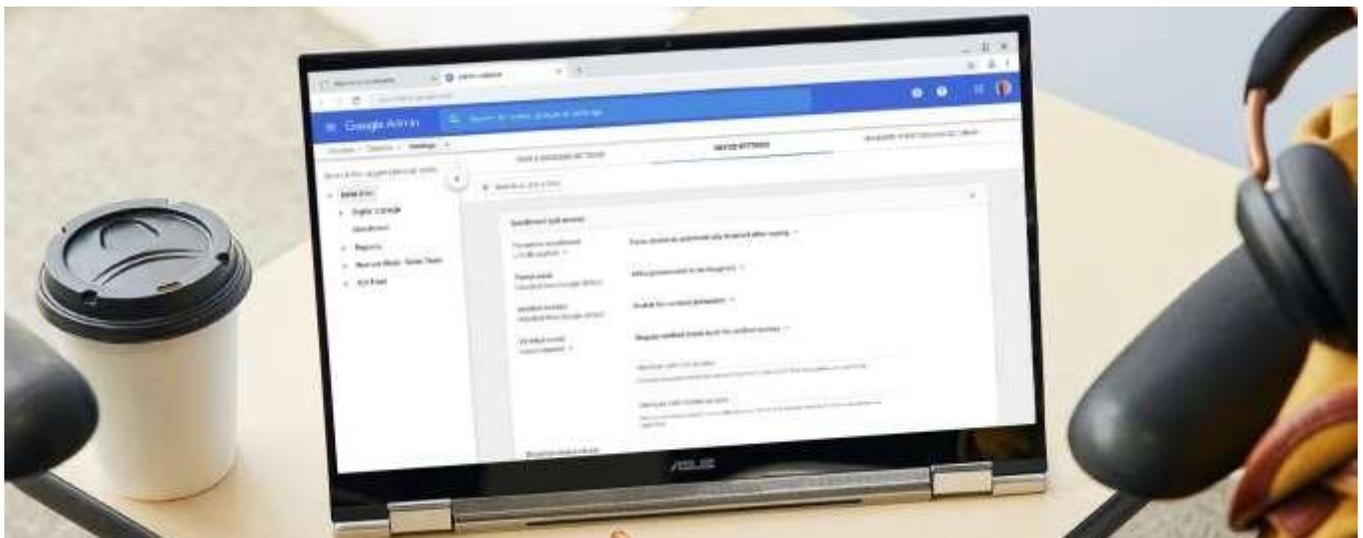
7 日間のアクティブ指標、リリースチャンネル、OS バージョンなど、ChromeOS デバイスのレポートを分析できます。

ネットワークとプロキシの設定

組織に登録されている管理対象デバイスの Wi-Fi ネットワーク、VPN ネットワーク、イーサネット、ネットワーク証明書を設定できます。

CloudReadyデバイスの管理

CloudReadyを使用すると、管理コンソールから組織の既存のパソコンにChromeOSをデプロイして管理できます。



ChromeOS のビジネス向け機能を活用

高度なセキュリティ

[紛失や盗難に備えた機能](#)

デバイスが紛失や盗難に遭った場合、リモートでデバイスを無効にして、デバイスを見つけた人に返却場所を伝えるメッセージを表示できます。

[セキュリティ設定の管理](#)

Chrome ブラウザでのセーフブラウジング、ダウンロード、パスワード管理に関するセキュリティポリシーを設定できます。

[確認済みアクセスの有効化](#)

ユーザーが機密データにアクセスする前に、そのデバイスが登録済みの安全な ChromeOS デバイスかどうかを、サードパーティのアプリやサービスが確認できます。

[クライアント証明書の管理](#)

組織内部のウェブリソースの認証用にユーザーとデバイスの証明書をプロビジョニングします。これにより、ユーザーは内部のネットワークとウェブサイトアクセスできるようになります。

[一時的ログインモード](#)

ディスクには何も保存せず、ユーザーのログアウト後に自動的にワイプしてすべてのデータを削除するようにデバイスを設定します。

柔軟なアプリ管理

[アプリと拡張機能のデプロイ](#)

アプリと拡張機能を簡単にデプロイできます。アプリと拡張機能を Chrome のタスクバーに自動的に固定したり、特定のアプリや拡張機能のインストールをブロックしたりできます。

[従来のアプリのデプロイ](#)

シンクライアントデバイスとして機能するように ChromeOS デバイスを設定することで、Windows などの従来のアプリケーションを利用できます。これには、[Parallels Desktop](#) を使用するか、Citrix、VMware、Comeyo などのソリューションを使用して仮想化したアプリを Chrome ブラウザで実行します。

[アプリを一元管理](#)

Google Play ストアや Chrome ウェブストアを使用して 1 か所ですべてのアプリを簡単に管理できます。





ChromeOS のお客様事例



Panda Express: IT チームはGoogle 管理コンソールの一元管理ツールを使用して、レストランマネージャーの業務や時間を割くことなくChromebook をセットアップできました。



Devoted Health: Devoted Health、ChromeOS による在宅勤務で高齢者向けサービスを即座に実現少人数のIT チームでもクラウドベースのGoogle 管理コンソールを使用して、Talkdesk Click-to-Call Extension などの拡張機能やアプリをChromeOS デバイスに簡単にインストールできます。



Viessmann: IT 部門の負荷が軽減され、ユーザーとポリシーの管理に費やす時間が短くなりました。またGoogle 管理コンソールから直接更新できるようになりました。



Synchrony: リモートIT チームは Google 管理コンソールを使用して Chromebook の管理対象ゲストセッションの設定を行い、コンタクトセンターチームのメンバーがより少ないログイン回数で Citrix にアクセスできるようになりました。

*ESG のテクニカルレビュー「[Google Chromebook: Accelerating Device Lifecycle Management](#)」、2020 年 7 月



➔ **Google 管理コンソールの最新のリリースと機能をご利用ください**

デモ環境のご利用希望やご不明な点は、TD SYNEX 相談窓口までご相談ください。
jp_chrome@tdsynnex.com